

【仮訳】



WSW ヴッパースタール シュタットベルケ ドイツのシュタットベルケの事例

東京 2017年9月6日

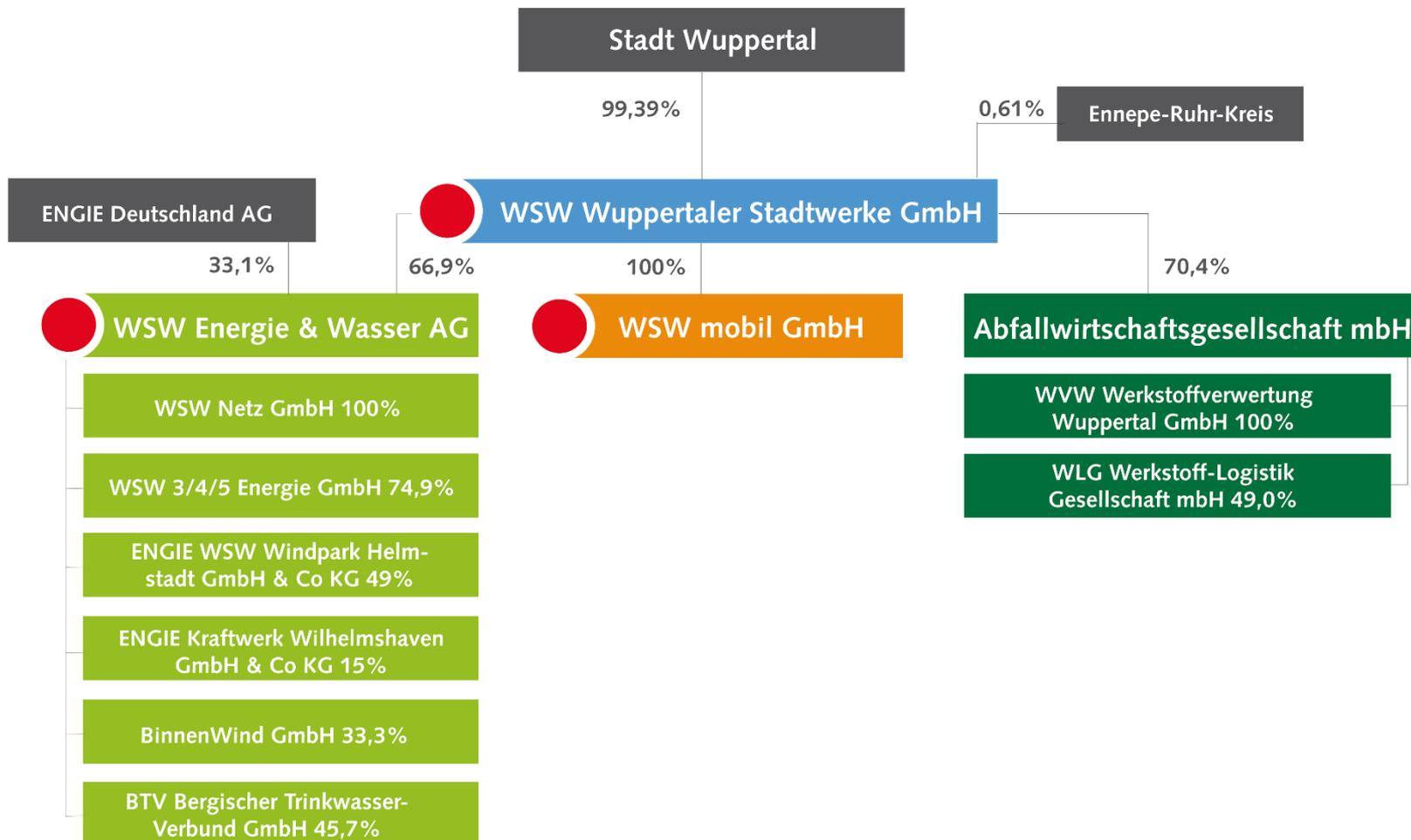
WSW Energie & Wasser AG

戦略・開発部長



WSW – わたしたちが体現するものは？

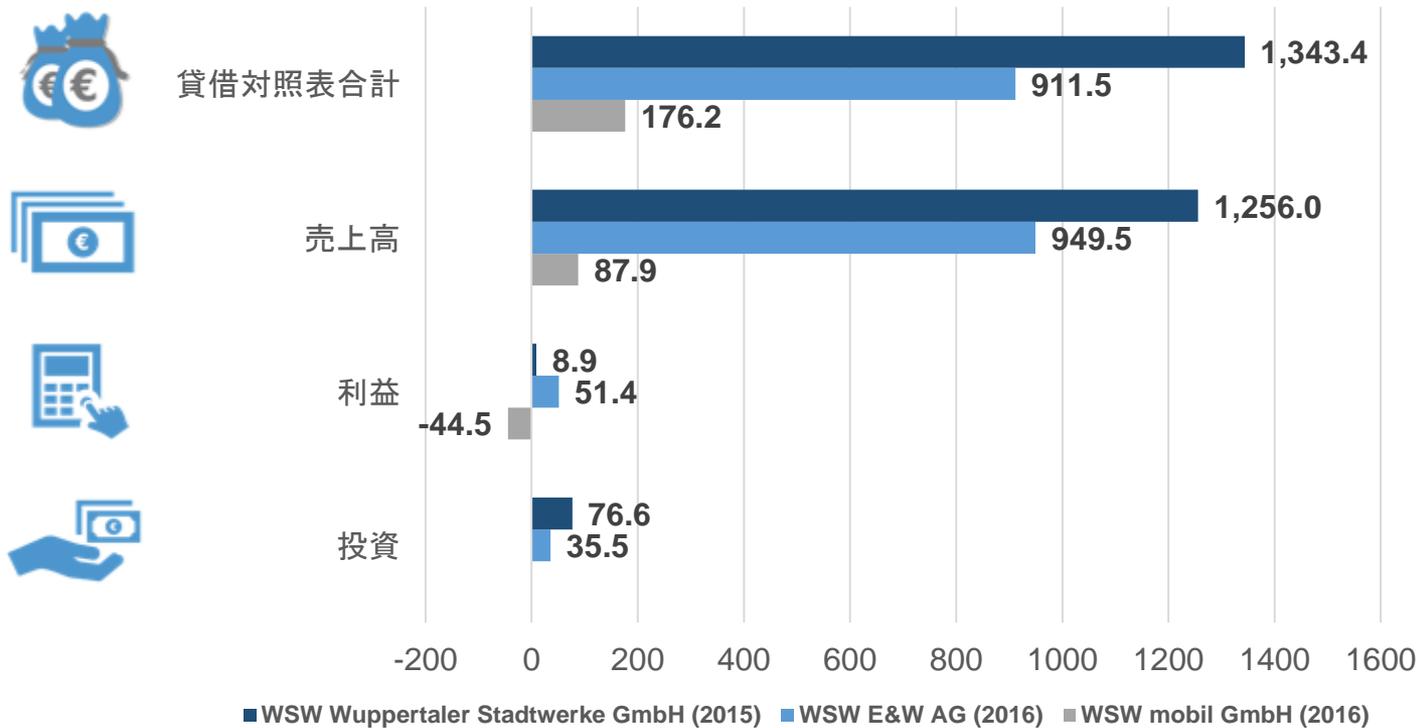




WSW グループの実績



WSW グループの実績 (100万ユーロ)



従業員数: **3,270** (2016)



乗客数 (100万人): **90.1** (2016)

主権的権利の引渡し
特に経済問題



主権的権利による効果：内部のエネルギー市場

- 非差別的な越境取引
- 卸売 & 小売市場

→ 切り離しによって実現(運営業者 & 生産業者)



政府

金融、防衛、外交、国政、航空

連邦州

教育、州内の治安(警察)

郡

連携 & 特別な法の単位

(地方)地域

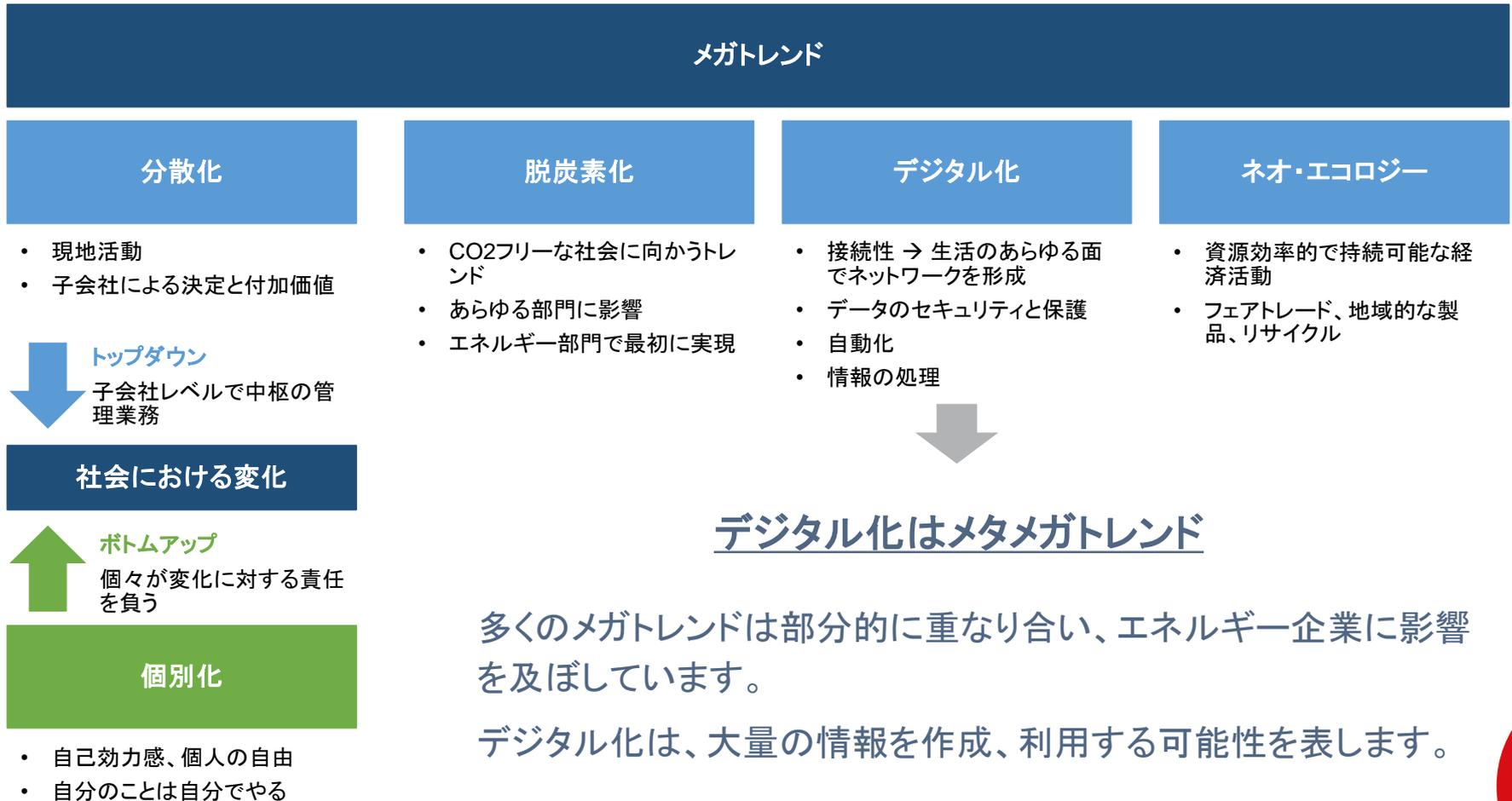
独立市

行政区域内の市

地方自治

業務

メガトレンドが描くのは社会全体の進展です。



メガトレンドは政治活動に表出します。

2050年 目標



CO2排出量を80~95%削減



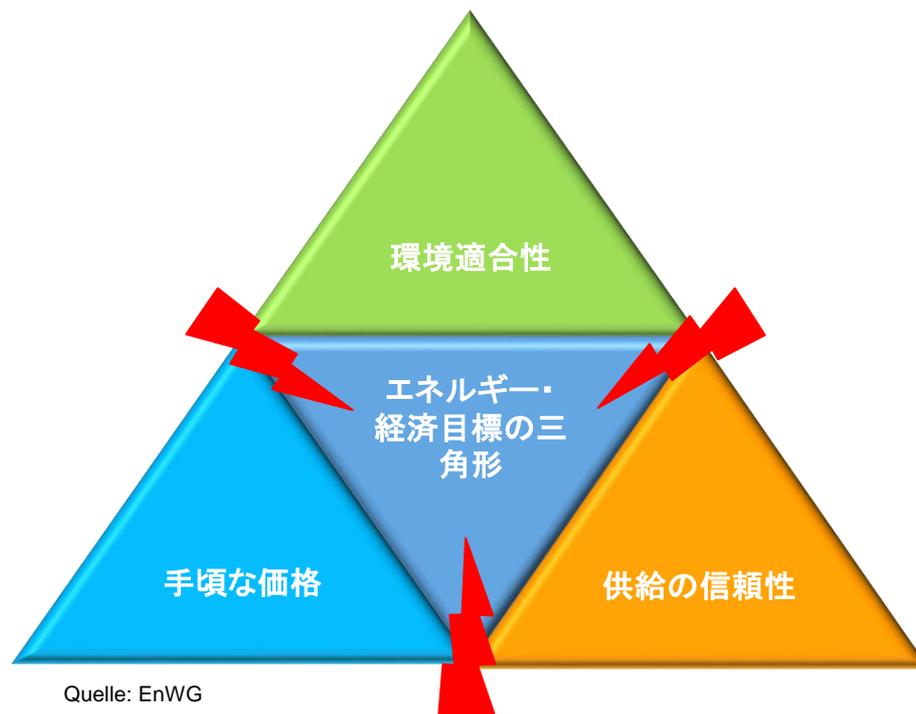
再生可能エネルギーのシェアを80%にアップ



エネルギー効率を50%向上



総電力消費量を50%削減



法的根拠:再生可能エネルギー法(EEG)

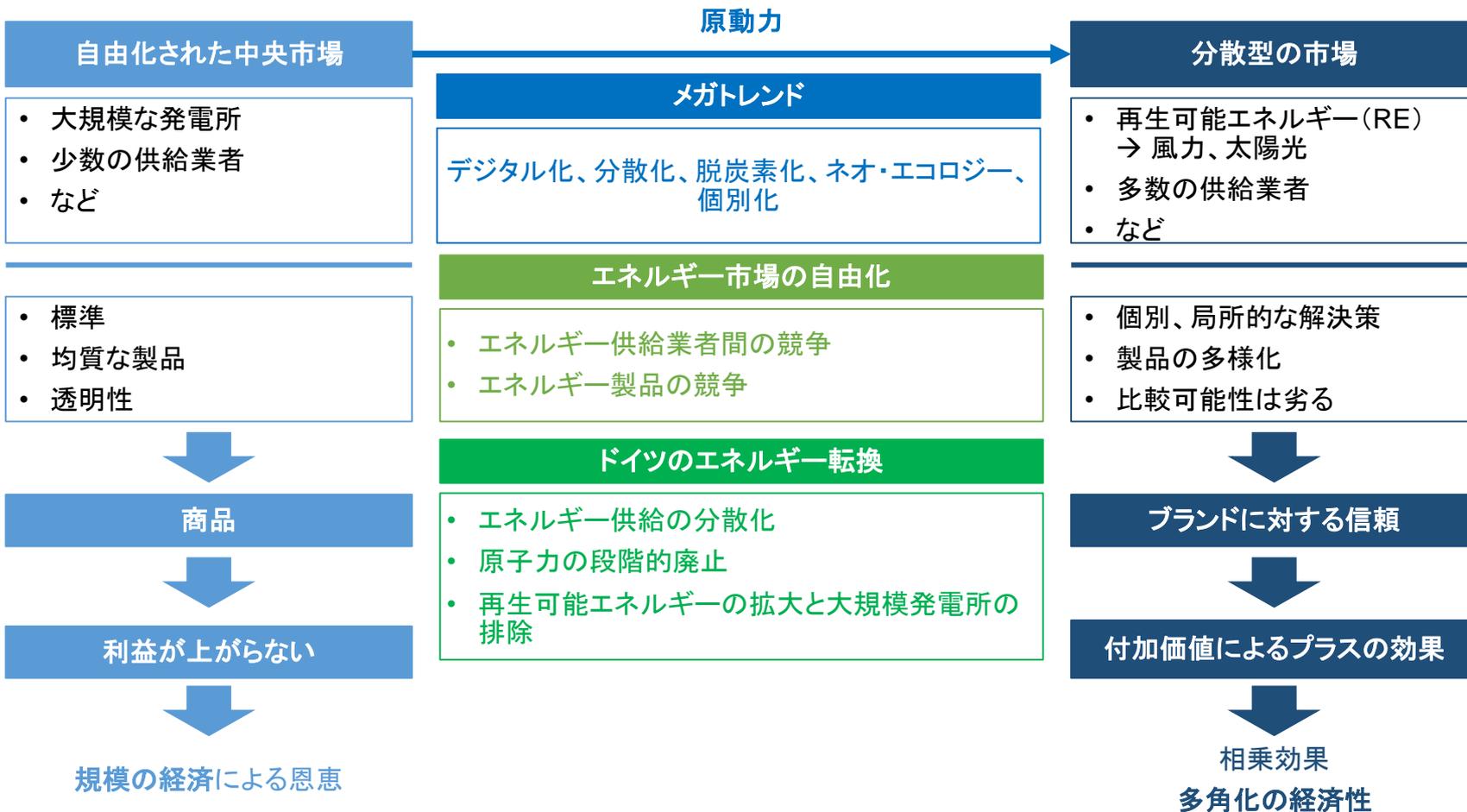
EEG 2014
固定価格買取制度

- 再生可能エネルギー技術への投資を促進する政策メカニズム
- 再生可能エネルギー生産者に対する長期的な契約

EEG 2017
入札形式

- ほとんどの再生可能技術に対して入札制度を導入
- 目的:再生可能電力の拡大を着実に進めるため

ドイツのエネルギーシステムの転換



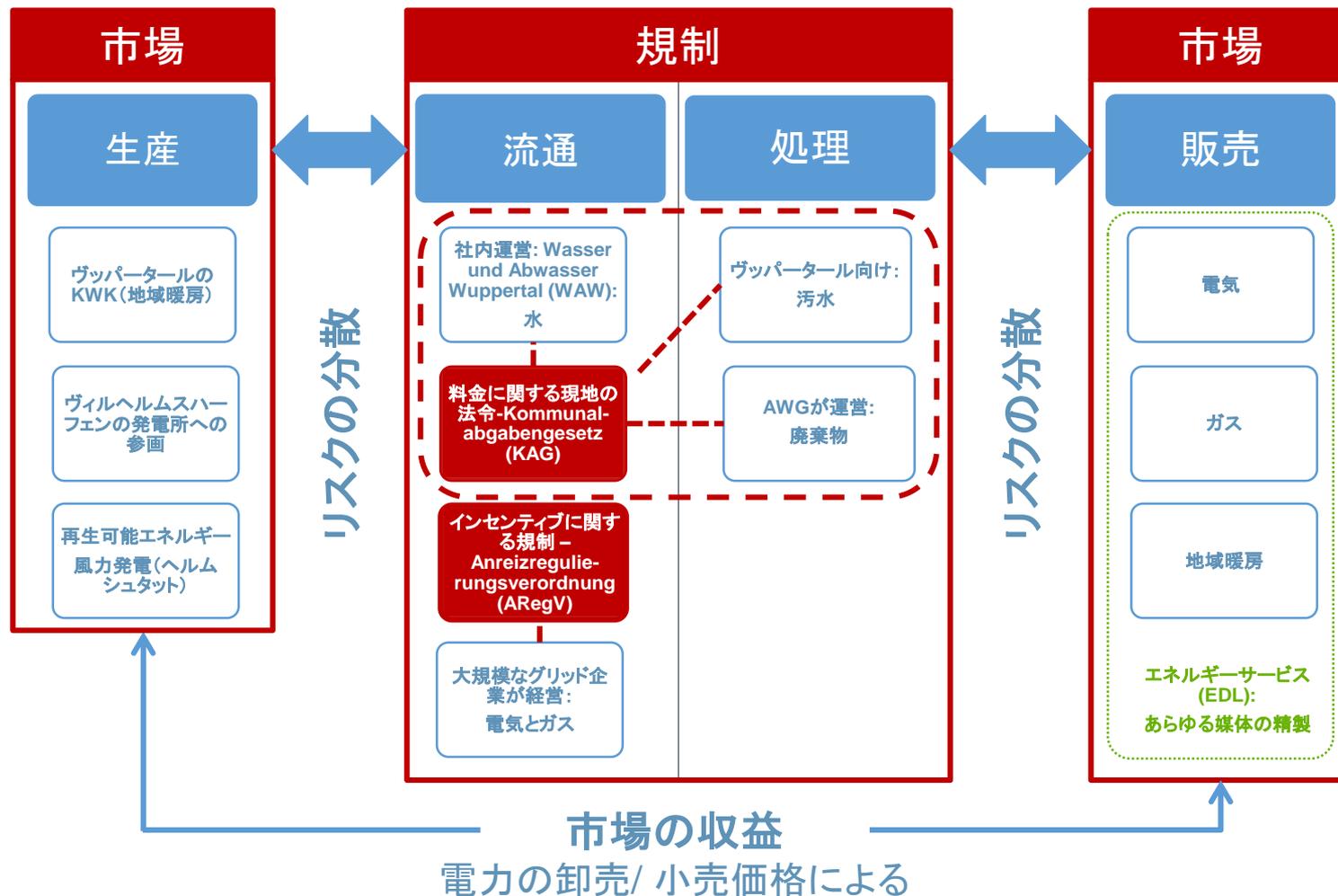
以上のメカニズムのため、WSWは次の3つの開発軌道を進みます：

リスクの分散

連携の相乗効果の活用

小売市場に注力

自由化に耐えられるよう、ポートフォリオを広げてリスクを分散します。



➡ 複数のレベルにまたがる潜在的に儲かる事業区分を幅広く多様化することで、長期的に持続可能な業務を確保します。

WSWグループ内での相乗効果の一例



AWG廃棄物焼却プラントの利用は、WSWグループ内における相乗効果の良い例です。

小売市場での成功要因は、強いブランドです。



展望

弊社はヴッパータール市民の皆様にひらめきを与え、いつでもその期待を超えていきます。

使命

弊社はヴッパータール市民との結びつきを感じ、日夜問わず生活の質を高めることに情熱を注いでいます。



将来、シュタットベルケはさまざまな課題に対処しなければなりません。

- ▶ 安価で分散型の貯蔵施設
- ▶ 分散型装置の操作
- ▶ 情報通信基盤
- ▶ ポートフォリオの多様化
- ▶ お客様の地位向上
- ▶ 大きな市場力学- 崩壊

WSWはつまり、地域インフラストラクチャの運営者なのです。

ご清聴ありがとうございました。

Sören Högel

WSW Energie & Wasser AG

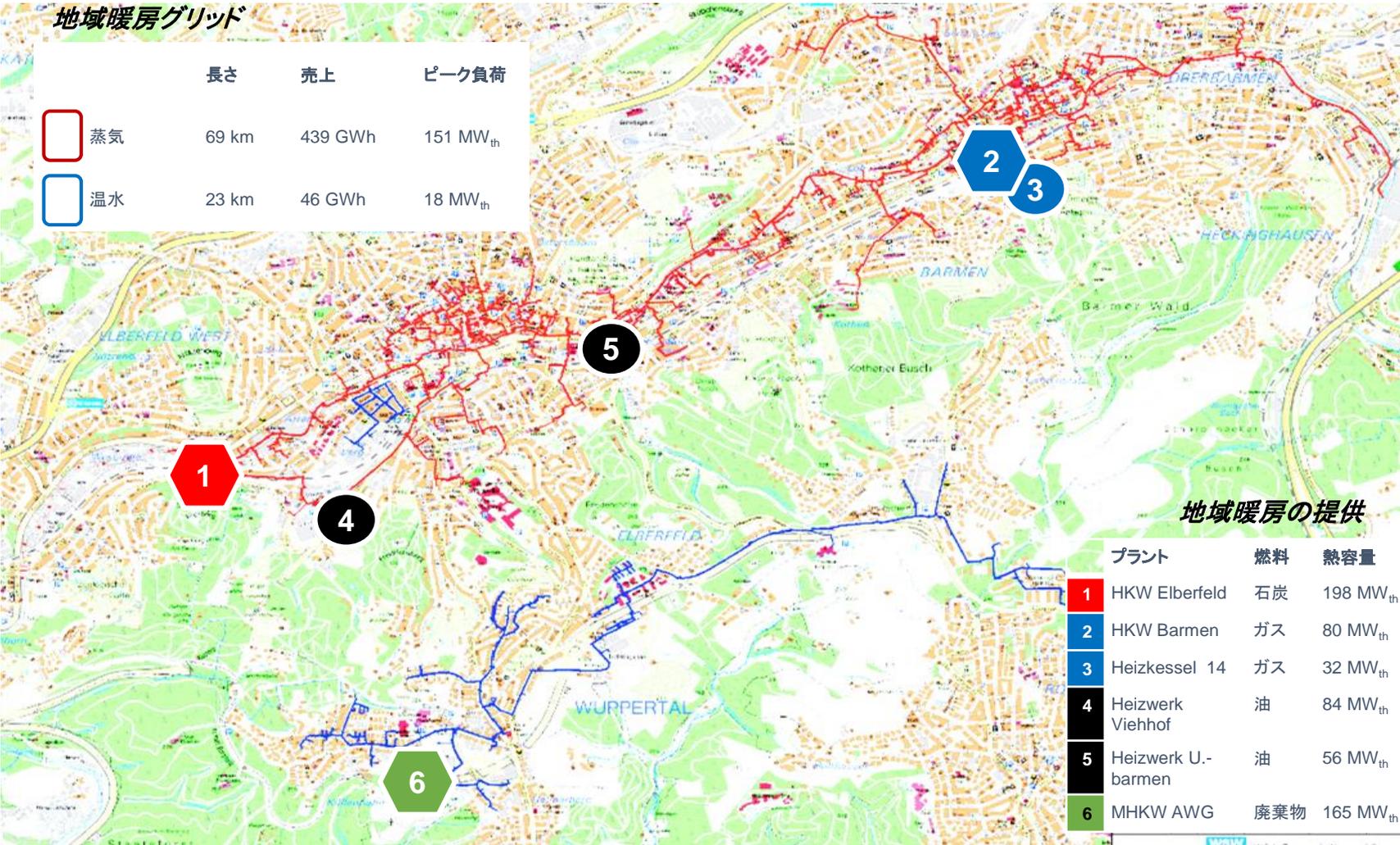
戦略・開発部門長

soeren.hoegel@wsw-online.de

補助資料

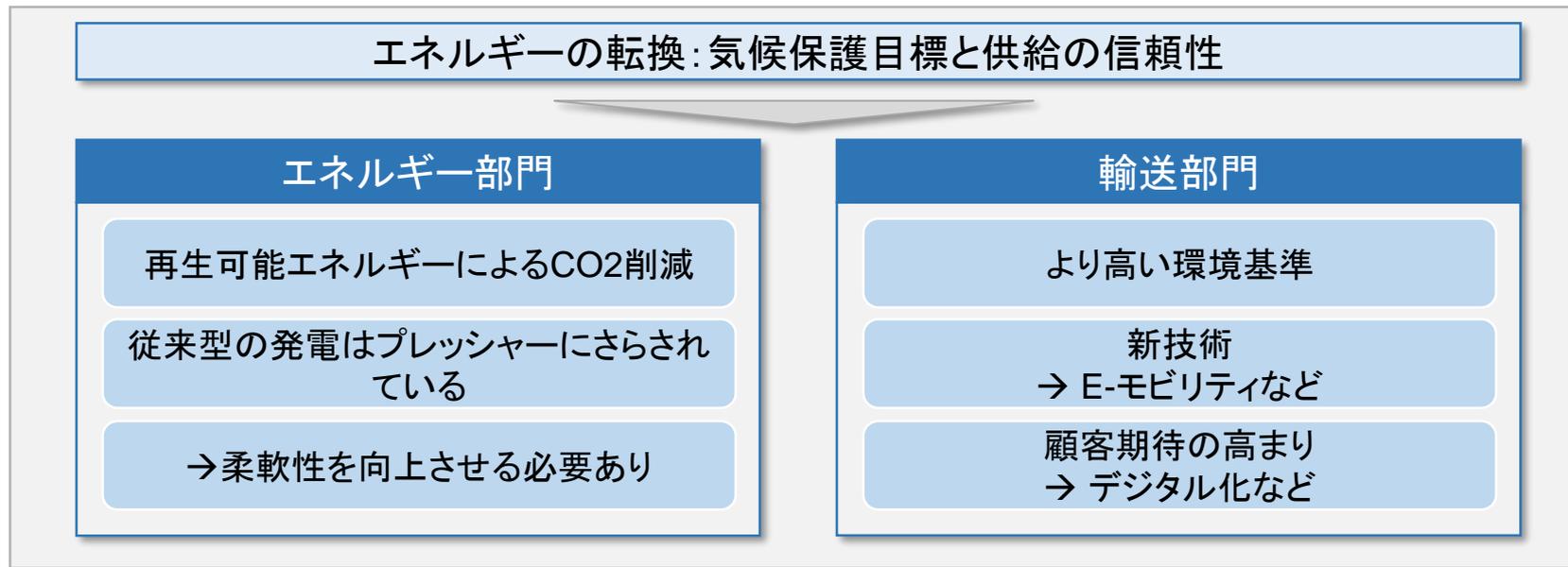


現在480GWhの地域暖房を、2つのグリッドの1,200名のお客様に供給



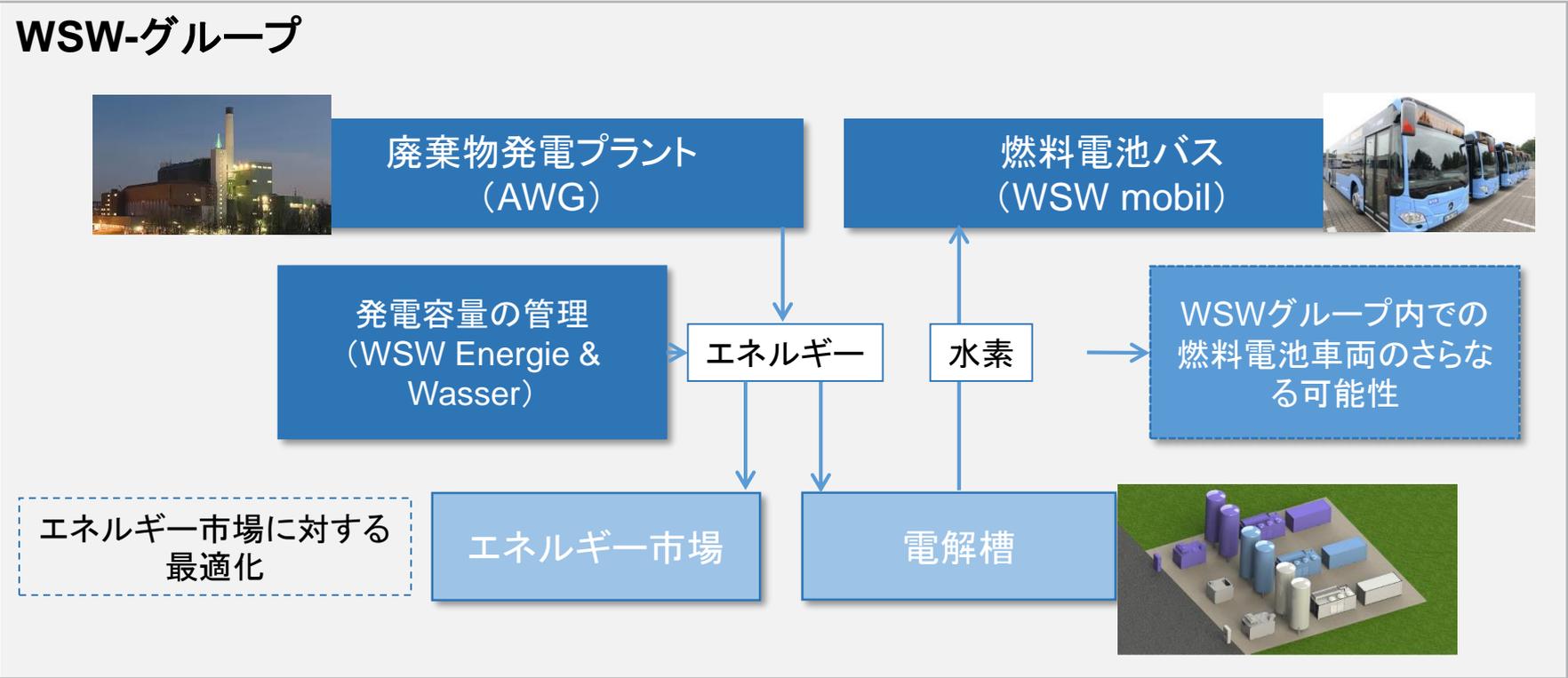
政治、社会で気候や環境保護への意識が高まっています。

- ▶ それを受けて、地域の公益事業に対してさまざまな要求が生まれています。



部門間のつながりが、さらなる利点を生み出します。
 WSWは完全に統合された地域の公益事業会社として、新たな統合ビジネスモデルを実現する可能性を秘めています。 → **Power-to-Mobility**など

WSWグループ内で水素を生産することで、供給の安定性を確保し、柔軟性を持たせます。



現在、WSWグループ内でこのコンセプトの適用を検討、実施しています。
このプロジェクトは、国内や欧州のバスやインフラ開発ファンドに申請中です。